

拝啓 檀信徒の皆様におかれましては益々御清祥の事とお喜び申し上げます。日頃、眞観寺にお心をお寄せいただき有難うございます。

今年も早いもので年の瀬となり、新しい年を迎えます。

瑞光満ちる平成二十八年元旦、恒例の元朝護摩を観音堂で厳修いたします。

護摩祈願（護摩札）を御希望の方は、左記の「小見眞観寺元朝護摩」をご一読の上、同封のハガキに住所・氏名・年齢・願意を書いてご返送ください。

お申込みはファックス（〇四八―五五六―二二〇〇）でも受付けます。

複数体の申し込みの方は、眞観寺に申込書があります。折り返しお送りしますので、電話〇四八―五五六―二六七八までご連絡下さい。遠方の方には護摩札を郵送致します。送料は無料です。ご遠慮なくお申し込み下さい。

合掌

平成二十七年十二月

眞観寺住職 中村 重継

檀 信 徒 各 位

## 小見眞観寺元朝護摩

・ 日時 平成二十八年 元旦 第一座 午前十時

第二座 午前十一時半

（十二時半に観音堂を閉じます）

・ 場所 眞観寺観音堂 正観音菩薩御宝前

### 護摩（ごま）とは

護摩は正しくは「護摩修行」と言います。真言密教の修行の一つで、護摩火中に仏を招来し、御仏の真体を観じます。

護摩によって煩惱を焼き浄め、大厄を消除し、家内安全、身体健全、

商売繁盛等、開運を祈願します。

### 護摩の願意について

護摩の願意は自由です。眞観寺の護摩は祈願と滅罪の護摩です。左の代表的なお願ひがあります。

- ・ 災厄<sup>やくよけ</sup>消除
- ・ 交通安全 (記名御守)
- ・ 身体健全
- ・ 商売繁盛
- ・ 当病平癒
- ・ 心願成就
- ・ 合格成就
- ・ 就職成就
- ・ 工事安全
- ・ 労災絶滅
- ・ 従業員安全
- ・ 事業繁栄
- ・ 方除
- ・ 御礼
- ・ 家内安全
- ・ 延命長寿
- ・ 身上安全
- ・ 傷病平癒
- ・ 大願成就
- ・ 学業成就
- ・ 開運満足
- ・ 工場安全
- ・ 勝利祈願
- ・ 商売繁盛
- ・ 火難除

つたときに)  
(お願ひがかな

護摩札は一体に付き一願意です。護摩の準備の都合がありますので、なるべく十二月二十八日迄に早めに申し込み下さい。

護摩祈願料は三千円です。祈願料は申込時だけでなく、元旦に持参されても大丈夫です。

来年の元朝護摩から交通安全の記名御守りを従前の三千円に戻します。今年の正月は無用の混乱を招き申し訳ありませんでした。

尚、遠方の方は護摩札の郵送(送料無料)と併せて銀行振り込みをご活用下さい。

群馬銀行 行田支店(374) 普通口座0178339 口座名義 シュウ)シンカンジ

男女大厄	大 厄			小 厄			厄 年 早 見 表
	後厄	本厄	前厄	後厄	本厄	前厄	
昭和31年生まれ	昭和49年生	昭和50年生	昭和51年生	平成3年生	平成4年生	平成5年生	男性
	昭和58年生	昭和59年生	昭和60年生	平成7年生	平成8年生	平成9年生	女性

## 松枯れ防止剤を樹幹注入します。

行田市北部地区で松枯れ病が猛威を振るっています。

十年近く前は利根川沿いに松枯れ病が流行し、須加の長光寺の松など、多くの木が枯れました。一旦収束したように思われましたが、今年には館林を起点として南下してきたようです。眞観寺でも不幸な事に観音堂前の黒松が罹患し、枯れました。

松枯れ病の原因は昭和四十四年まで不明でした。しかし、同年林業試験場九州支所の清原氏と徳重氏によって「マツノザイセンチュウ（松の材線虫）」という、全長一ミリの小さな虫が原因と発見されました。この線虫の原産は北米です。米松の丸太に紛れて明治以降に日本に来たようです。目に見えない大きさの線虫がカミキリ虫によって媒介され、伝染する病気です。線虫が感染すると、松の導管（人間で言えば血管に相当します）に気泡が発生する等の現象が現れ、結果として水が吸い上げられなくなって枯死に至ります。

マツノザイセンチュウが発見されるまでは昆虫による食害が松枯れ病の原因であると考えられていたため、全国の松林にヘリコプターで農薬を散布する等の対策を行っていたようですが、根本的な対策には至らなかつたようです。

線虫は健全な松であればカミキリ虫が噛んだ瞬間に松ヤニを出して、線虫の侵入を防護するそうです。しかし、今年の夏は梅雨明け後一ヶ月近く雨が降りませんでした。高気温と乾燥で水分不足となった松は、本来の防護能力を失なっていたのだと思います。

ありきたりですが夏場の乾燥が一週間も続くときは、松に水を遣るのが松が持っている防護能力が高まり、効果的だそうです。

とはいえ、面積約七千坪、四十六本（多分）の松に灌水するのは現実的ではありません。

そこで、松枯れ防止の薬剤を樹幹注入することにしました。兼務している西明寺駐車場の赤松（直径約五十cm）も病変で枯れたのですが、松枯れに気付いた通りすがりの方から松枯れ防止剤を教わり

ました。薬剤名が書いてあるパンフレットを私に手渡し、「あなたなら出来るでしょう」と、言い残して行ってしまったという出来事がありました。

私はどうやら住職には見えなかったのかも知れません。前任職は植木の心得があったのですが……。私はどちらかと言えば伐採師で木には厳しいはずです。ともあれ、野外で作業が出来る人に見えたのでしよう。

教わった薬剤は外国のファイザー製薬の製品なので、(国内経済が良くなるように)同様の効果のある日本の三井化学アグロ製の薬剤を探しました。試験的に西明寺の南門の黒松に注入しました。右下の写真は注入の様子です。幹直径五十センチで八本必要でした。一度の注入で五〜七年間有効のようです。

幹の直径に比例して一本定価三五〇〇円の薬剤が必要になります。眞観寺には四十六本の注入対象の松があり、必要数は百五十本になります。何とか一本一八〇〇円(送料・消費税込)の店を探して、それでも総額となるとかなり高額なので逡巡していました。すると、本庄の寺院で松五本の救命に三百万円掛かった話を聞いて、実行を決断しました。何故なら、救う松の本数は一桁多く、掛かる費用は一桁少ないわけですから。もしかすると通りすがりの親切な方は、観世音菩薩が心を向けて遣わした使者だったのかも知れませんが。

## 送迎の車の中で

住職は通夜と告別式では送迎してもらっています。法要に集中出来るので、とても助かります。運転される方も緊張するでしょうか、道中、少し話をします。



その中で、来年就職活動を迎える若い方に「住職はどのくらいでお経が読めるようになりましたか」と聞かれました。これから社会に出る上で世間や自分に対し色々な不安を感じるのでしょうか。その気持ちを正直に質問できるのはとても良いことだと思います。

大学時代の修業を終えてから、父や祖父と本格的に葬儀や法事等の法要で読経するようになってから十五年位はかかりましたでしょうか。最初は下手だったと思います。今でもそれほど上手ではありませんが、慣れたので、五く六座程読経が連結しても、変わらず詠めるようになりました。詳しくは「般若心経を詠む会」にでも来ていただければお話致しましょう。

社会に出てみて、先輩達の慣れによって滑らかにできている様子を見て萎縮してしまうのは得策ではありません。多くの人が向上しようと意識を持って経験を積みれば体得出来る事は意外に多いのです。一例を挙げれば車の運転はどうでしょうか。多くの方が運転できますし、ある程度までは経験を積みば上手になります。私が免許取り立ての頃は「一万キロ走ればあらゆる道路状況に出会う。」と言われました。

何事にも巧拙がありますが、それは行う時の意識の持ち方だと思います。過度の畏れは必要ないと思います。畏れるよりも自信を持って臨んで下さい。眞観寺観音堂には仏の功德の一つである『施無畏(畏れを取り除く)』の額があります。考えすぎたときには思い出して下さい。

## 「自信を持って」と言われても……という方へ

「自信を持って」と言われても困ってしまうかもしれません。ならば住職が自信の根拠を示しましょう。私の大学時代の友人が『エンジニアとして世界の最前線で働く選択肢』と言う本を書きました。日本で教育を受け学生時代に学んだ学問は必ず役に立ちます。特に、その中に日本の英語学習の有効性について書かれています。これから世界に踏み出す皆さんにとっても参考になる事でしょう。

## 般若心経を詠む会に講師を招きます。

十一月の般若心経を詠む会では読経のリズムについてお話ししました。今年最後の「般若心経を詠む会」では上池守持宝院の副住職馬場隆法師をお招きし、般若心経を伝授致します。

馬場隆法師は京都本山で修行の後、高幡不動で研鑽を積んだ経歴を持ちます。当日は高幡流滅罪法要のゆっくりとした般若心経を教授いただけると思います。

昨年の大開帳護摩にも出仕された馬場隆法師は、元朝護摩の祈願太鼓も奉納致します。音楽の感覚に優れた隆法師の講義をお楽しみ下さい。

日時 十二月十八日（金曜日）十時～十一時半

場所 真観寺客殿

## ~~~~~ 来年の干支について ~~~~~

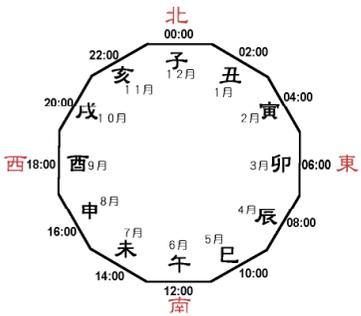
来年は申歳さるです。昔の人は方位に十二支を当てはめて表しました。左の図のように申さるは七時の方角で、十二支を八方位に当てはめたので、申歳の守り本尊は奈良の大仏様で有名な「大日如来だいにちによらい」様です。

大日如来様は二色あります。一つは金剛頂経が描く世界、「金剛界曼荼羅の大日如来」。もう一つは大日経を元にした「胎蔵界曼荼羅の大日如来」です。金剛界曼荼羅が悟りに至る人間の精神と思考を表し、胎蔵界曼荼羅は全宇宙を表します。読経中に「南無両部界会」とお唱えするのは金剛界と胎蔵界の両方の全ての仏様に帰依します。という意味です。写真の大日如来は観音堂前の大日如来です。金剛界の大日如来で、左手の人差し指を



未年の守り本尊

「大日如来」観音堂前の八体佛



如来で、右手で握る「智拳印」を結んでいきます。